

分科会開催報告書

報告日 令和3年 3月 31日(水)	報告者 小 幡 友 子
分科会名 浮 雲 俳 句 会	開催テーマ 145回 浮雲俳句会
開催日時 令和3年 3月 28日(日) 午前9時30分～午前11時30分	開催場所 能見台地区センター多目的室—A—
参加人数 “わ”の会会員 男10名 女5名 合計15名 欠席者1名	

実施内容

第145回例会は、兼題①小田原城②地理（仲春）他に当季雑詠2句。計4句。

句会は、兒玉国眼会員による選句の披講の後、会員それぞれが、特選句に選んだ句についての感想を語った。続いて、全会員で特選8句を選んだ。

特選句	瞬くは師の星ならむ春の宵	とも女
	花散るや浮雲高くひかりをり	重 九
	句の道を歩む師の影春の野辺	勇 平
	眼差しは真直ぐ未来へ卒業す	春 駒
	道化師の投げ銭帽子に春の雨	三 洋
	漕ぎ出せば海の上なり半仙戯	重 九
	春雪の艶めく尾根のうねりかな	十 九
	亀鳴くや明日のことは明日わかる	三 洋

会員高点句

9点句	瞬くは師の星ならむ春の宵	とも女
7点句	花散るや浮雲高くひかりをり	重 九
6点句	句の道を歩む師の影春の野辺	勇 平
6点句	眼差しは真直ぐ未来へ卒業す	春 駒

次回の予定

令和3年4月25日(日) 午前9時30分～午前11時30分

「第146回例会」は、能見台地区センター多目的室—A—

第146回例会は、兼題人事全般（晩春）他に当季雑詠3句。合計4句。

披講柴崎一幸会員。